

市民みんなで日本ジオパークへの登録を目指そう!



北谷町杉山の恐竜化石発掘現場

勝山市では、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が提唱している地球活動の遺産を主な見どころとする自然公園、「日本ジオパーク」に登録申請することになりました。

ジオパークとは、ジオ（地球）に親しみ、ジオを学ぶ旅（ジオツーリズム）を楽しむ場所のことを指します。

現在、日本ジオパークに登録されている場所は7か所。様似町アポイ岳（北海道）、洞爺湖周辺地域（北海道）、糸魚川（新潟県）、南アルプス（長野県、静岡県、山梨県）、山陰海岸（鳥取県、兵庫県、京都府）、室戸（高知県）、島原半島（長崎県）となっています。

今回はこの「日本ジオパーク」への登録申請を前に、概要や登録のメリッ トなどを説明します。

ジオパークって何？

ジオパークは、ユネスコが提唱する学術、文化的に貴重な地質遺産（地層、岩石、断層、火山など）を複数含む自然公園を意味します。

- ① 遺産を保全し、後世に伝えること
- ② ジオツーリズムを通じた地球科学の普及や環境教育への活用
- ③ 遺産を活用した地域の人々の活動、観光振興および地域振興による地域の活性化

ジオパークのエリアは市域全域

北谷町杉山の恐竜化石発掘現場をはじめとした、自然、文化、歴史遺産並びにエコミュージアムの推進、恐竜を活かしたまちづくりの成果を結びつけ、市域全域をジオパークエリアとします。

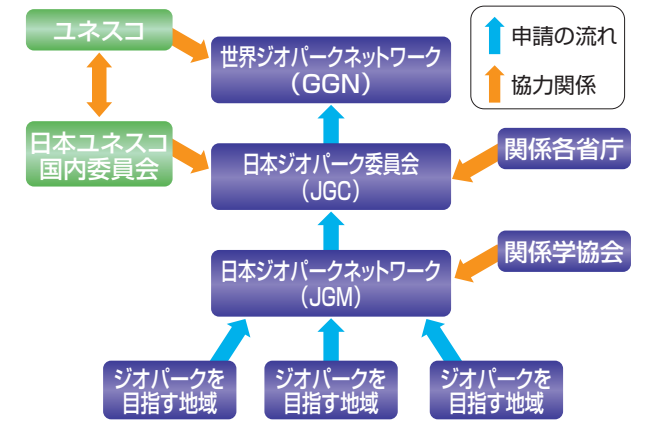
ジオパーク登録のメリットは何？

- ① ジオパークを名乗ることができ、勝山市の知名度が向上します
- ② 市内の各種観光資源を活用した地域振興が図れます（ジオツーリズム）
- ③ 国内のジオパーク登録地との連携が図れます



恐竜化石発掘体験

ジオパーク登録までの流れ



世界遺産とは何が違うの？

世界遺産は世界遺産条約に基づいて保全・保護を目的としています。

ジオパークは保全・活用（地域振興）を目的としています。

今後は、福井県、県立恐竜博物館と連携して、6月中旬までに日本ジオパーク委員会への申請を行い、9月下旬の登録を目指します。

問 未来創造課 ☎ 88・11115

「小さくてもきらりと光る

誇りと活力に満ちたふるさと勝山」を創造

問 総務課 ☎ 88・11116、未来創造課 ☎ 88・11115

第5次勝山市総合計画の策定を始めます！

策定期間は、平成21年度～22年度

10年後の勝山市の、夢のある新しいまちのかたちの実現を目指す「第5次勝山市総合計画」の策定作業がいよいよ本年度から始まります。

策定にあたっては、市民の皆さんの声が十分計画に反映できるよう、地区別座談会や全世帯対象の市民アンケート実施、また、若者世代との検討委員会や市長とんでも語ろう会などを随時開催し、市内に策定委員会などを組織して取り組んでいきます。

この総合計画で、いつまでも安心して暮らすことができる「小さくてもきらりと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山」の実現に向けた、より実効性のあるものとなるよう策定を進めます。

新しいまちのかたちを実現

市では、市内の若手職員などで構成する「長期ビジョン策定研究会」が、勝山市の人口の現状および将来推計などの資料をもとに約1年をかけ、「長期的展望に立ち研究する政策課題」について分析・研究した結果を、勝山市行財政改革実施計画（平成20年4月改定版）に追加し、4月に公表します。

これら研究結果の各項目（下図）は、第5次勝山市総合計画の策定を進めるうえで議論の基礎と位置づけます。

総合計画策定に向けた議論の基礎とする項目

1.小中学校の望ましい姿の実現 「勝山市の小中学校の望ましいあり方について検討委員会報告」の結果を尊重した、小中学校の望ましい姿の実現。	2.地域のまちづくり拠点の強化 小中学校の望ましい姿の実現後の現在の公共施設を活用した地域のシンボルとしての「地域のまちづくり拠点施設」の整備。
3.幼稚園、保育園の望ましい姿の実現 出生数の減少に伴う対象児童の減少を見据えた、幼稚園および保育園の望ましい姿の実現。	5.基礎的コミュニティのあり方 人口減少によるさまざまな住民活動の維持や地域防災力向上を図るため、行政区の枠組みなどの再検討。
4.公共バスの運行体系の充実 公共施設などのあり方に伴い、さまざまな市民ニーズに対応した効率的な公共バス運行体系の整備。	

第5次勝山市総合計画

※勝山市総合計画の策定状況は、「広報かつやま」の紙面で市民の皆さんへ毎月お知らせします

- 地区別座談会
- 若者世代との検討委員会
- 市長とんでも語ろう会
- 市民アンケート